



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日
上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社
コード番号 4022 URL <https://www.rasa.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂尾 耕作
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 常務執行役員 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,349	△20.2	2,109	△44.7	1,988	△49.0	1,442	△45.5
2023年3月期第3四半期	38,034	53.1	3,811	64.9	3,898	65.4	2,646	61.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,809百万円 (△44.1%) 2023年3月期第3四半期 3,237百万円 (66.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	182.46	—
2023年3月期第3四半期	334.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	44,672	23,862	53.4
2023年3月期	47,552	23,252	48.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 23,862百万円 2023年3月期 23,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	82.00	82.00
2024年3月期	—	41.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△13.3	3,250	△29.7	3,050	△35.0	2,100	△35.0	265.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	7,944,203株	2023年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	69,080株	2023年3月期	30,972株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	7,908,670株	2023年3月期3Q	7,915,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに伴う行動制限の解除により社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復に向かいました。一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるエネルギー価格や原材料価格の高騰によるインフレ、為替相場の変動、更に、世界的な半導体市場の悪化も加わり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、中期経営計画2023の最終年度を迎え、引き続き「次世代への変化に対応した事業戦略の推進と将来に向けた事業基盤の更なる強化」を基本方針とした、既存事業の強化・領域拡大やグローバル市場への対応強化、新規事業の探索・育成などの事業戦略を推進していくとともに、これら事業戦略を支える基盤整備として、DXやESGの取り組みや人材戦略にも注力し、収益力の向上と持続的成長に向けた新規事業の育成などの経営課題の解決に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高303億49百万円（前年同期比20.2%減）、営業利益21億9百万円（前年同期比44.7%減）、経常利益19億88百万円（前年同期比49.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億42百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①化成品事業

燐酸などの燐系製品につきましては、半導体向け高純度品が半導体市況の悪化を受け、販売数量の減少により大幅な減収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、上水道向け製品は増収となりましたが、電子部品のエッチング用途向けが減収となりました。

コンデンサー向け原料は、調整局面の継続による販売数量の減少により大幅な減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、248億52百万円（前年同期比23.2%減）、セグメント利益は、19億74百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

②機械事業

建設機械につきましては、破碎機、選別機等の本体販売が減収となりましたが、プラント販売は増収となりました。消耗部品は、ほぼ前年並みに推移しました。精密機械加工は減収となりました。

下水道関連向け掘進機の土木機械につきましては、本体販売、レンタル物件ともに減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、35億72百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は、3億27百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、ガリウム、インジウム等は半導体市況の悪化を受け、販売数量の減少により大幅な減収となりました。タッチパネル等に用いられる塗布剤は、テレワーク関連特需の終息により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億98百万円（前年同期比30.7%減）、セグメント利益は、93百万円（前年同期比77.4%減）となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、増収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億25百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は、5億79百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて27億7百万円減少し、228億57百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金が13億62百万円減少、棚卸資産が合計で10億33百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1億72百万円減少し、218億15百万円となりました。この主な内訳は、有形固定資産が5億35百万円減少、投資その他の資産のその他（主に繰延税金資産）が1億88百万円減少した一方、投資有価証券が5億39百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて34億90百万円減少し208億9百万円となりました。この主な増減理由としては、支払手形及び買掛金が17億86百万円減少、短期借入金及び長期借入金が合わせて11億94百万円減少、未払法人税等が6億85百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を14億42百万円計上、為替換算調整勘定が4億15百万円増加した一方、剰余金の配当により9億73百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて6億10百万円増加し238億62百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は446億72百万円となり、自己資本比率は53.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月14日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,940	3,577
受取手形及び売掛金	11,303	11,475
商品及び製品	3,827	3,469
仕掛品	1,372	1,942
原材料及び貯蔵品	3,165	1,920
その他	957	473
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,564	22,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,097	3,936
機械装置及び運搬具(純額)	4,682	4,251
工具、器具及び備品(純額)	901	935
土地	6,879	6,879
建設仮勘定	1,234	1,275
その他(純額)	96	78
有形固定資産合計	17,893	17,357
無形固定資産	40	51
投資その他の資産		
投資有価証券	2,736	3,276
その他	1,322	1,134
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	4,053	4,406
固定資産合計	21,987	21,815
資産合計	47,552	44,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,524	3,738
短期借入金	7,147	6,573
未払法人税等	730	44
賞与引当金	460	233
その他	1,874	2,307
流動負債合計	15,737	12,896
固定負債		
長期借入金	5,021	4,400
退職給付に係る負債	3,165	3,148
その他	376	363
固定負債合計	8,563	7,913
負債合計	24,300	20,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	14,199	14,666
自己株式	△59	△139
株主資本合計	22,583	22,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	58
繰延ヘッジ損益	10	0
為替換算調整勘定	743	1,159
退職給付に係る調整累計額	△366	△326
その他の包括利益累計額合計	542	892
非支配株主持分	126	—
純資産合計	23,252	23,862
負債純資産合計	47,552	44,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	38,034	30,349
売上原価	30,544	24,670
売上総利益	7,489	5,679
販売費及び一般管理費	3,677	3,570
営業利益	3,811	2,109
営業外収益		
受取配当金	41	62
受取地代家賃	21	22
為替差益	—	46
その他	367	51
営業外収益合計	429	182
営業外費用		
支払利息	143	139
休止鉱山鉱害対策費用	95	88
その他	104	76
営業外費用合計	343	303
経常利益	3,898	1,988
特別利益		
受取保険金	—	140
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	140
特別損失		
災害による損失	32	—
特別損失合計	32	—
税金等調整前四半期純利益	3,868	2,129
法人税、住民税及び事業税	959	523
法人税等調整額	237	156
法人税等合計	1,196	679
四半期純利益	2,672	1,449
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,646	1,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,672	1,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	△96
繰延ヘッジ損益	△10	△9
為替換算調整勘定	409	388
退職給付に係る調整額	41	40
持分法適用会社に対する持分相当額	52	37
その他の包括利益合計	565	359
四半期包括利益	3,237	1,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,202	1,792
非支配株主に係る四半期包括利益	35	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	32,345	3,382	1,441	37,169	864	38,034	—	38,034
外部顧客への売上高	32,345	3,382	1,441	37,169	864	38,034	—	38,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	—	0	10	25	36	△36	—
計	32,356	3,382	1,441	37,180	890	38,070	△36	38,034
セグメント利益	3,432	331	414	4,178	516	4,695	△883	3,811

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△883百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△884百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	24,852	3,572	998	29,424	925	30,349	—	30,349
外部顧客への売上高	24,852	3,572	998	29,424	925	30,349	—	30,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	0	8	25	33	△33	—
計	24,861	3,572	998	29,433	950	30,383	△33	30,349
セグメント利益	1,974	327	93	2,394	579	2,974	△865	2,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△865百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△866百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。